

# 魔法のプロジェクト

「魔法のワンドで、お見通しだっ！」

香川県立善通寺養護学校 近藤創・堀江知愛子



香川県立善通寺養護学校

# 魔法のワンドプロジェクト

キーワードは「見る」

このプロジェクトの主人公は？

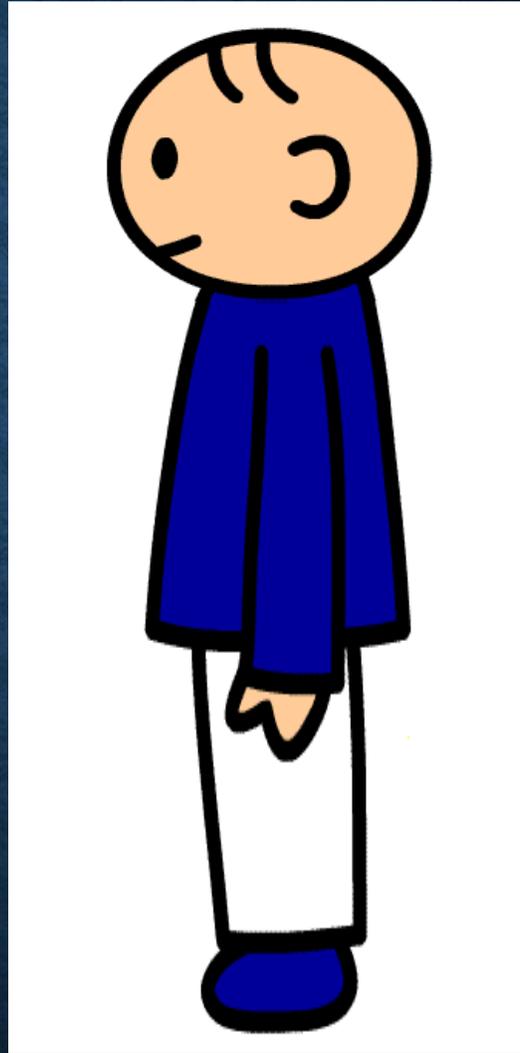
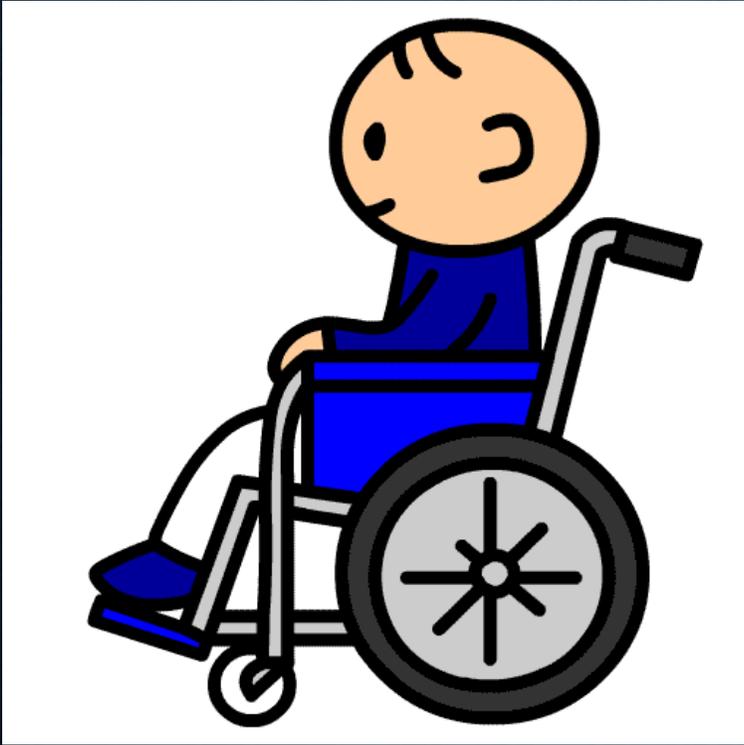
- ・電動車いすでスイスイと移動するS君

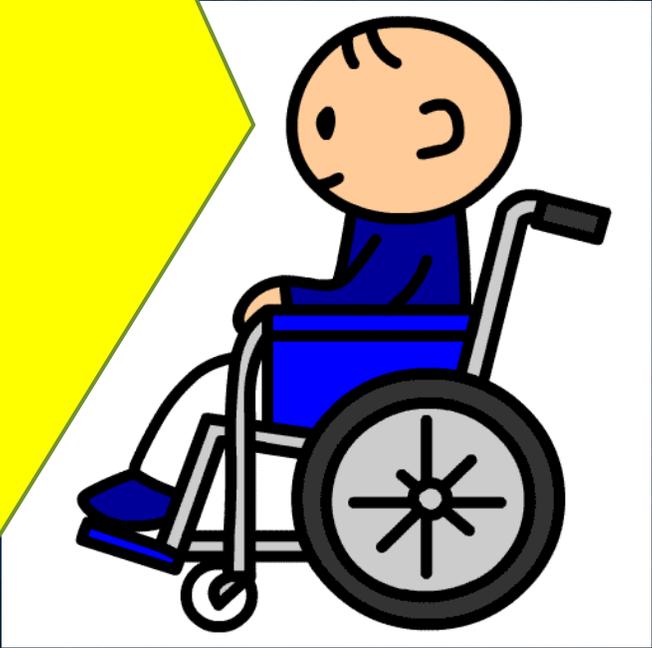
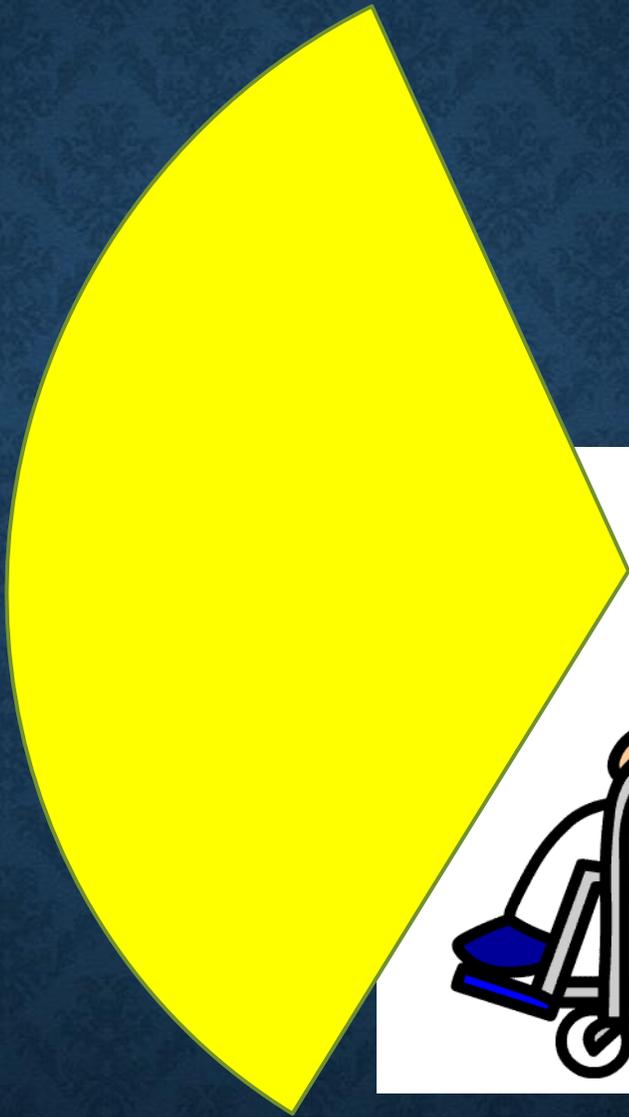


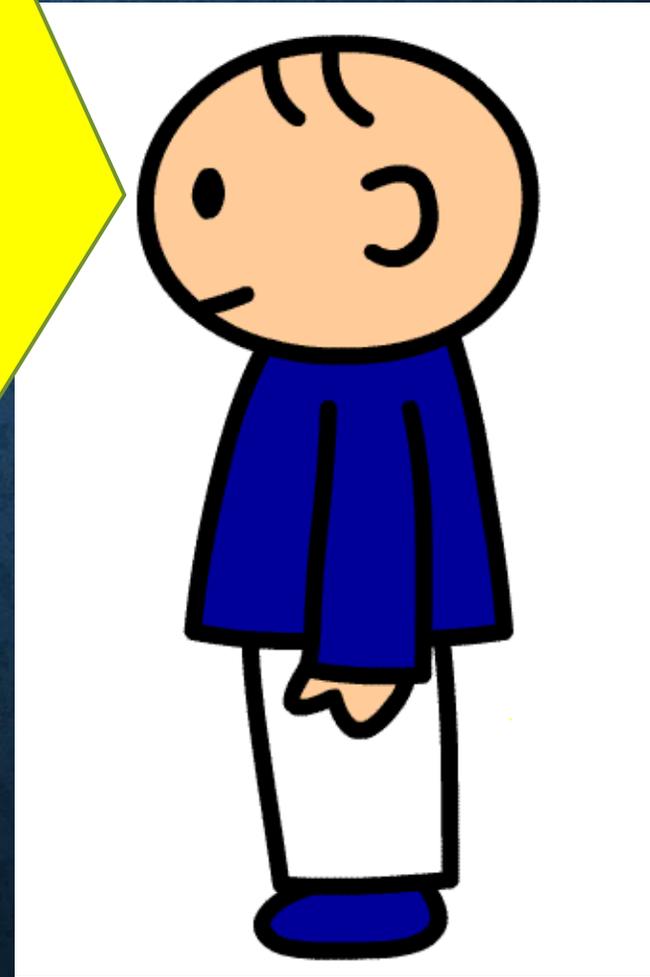
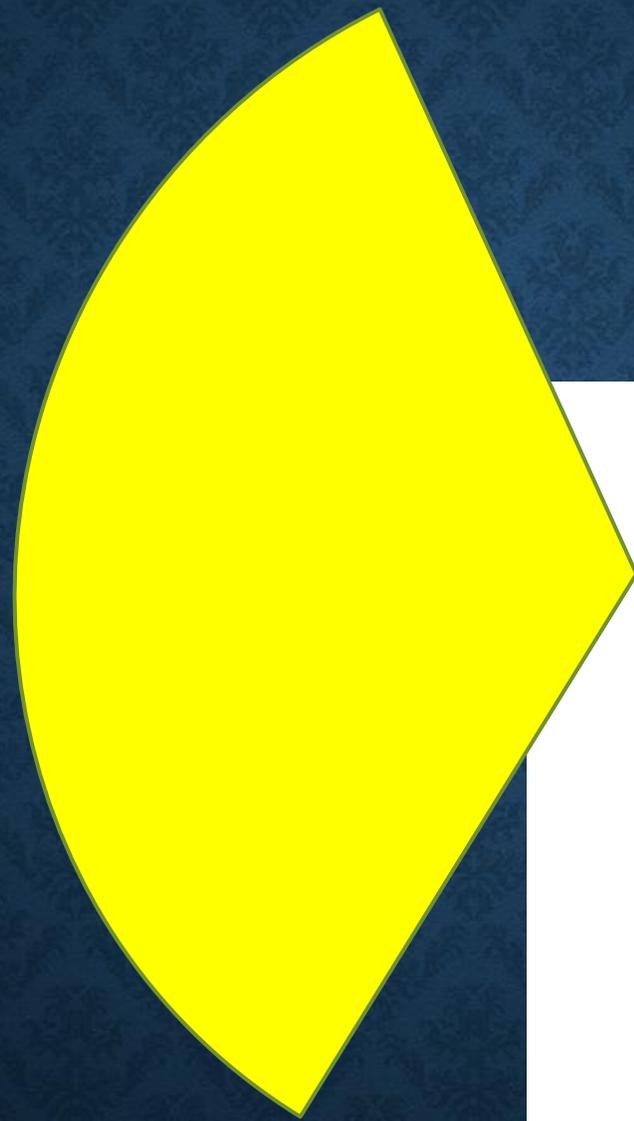
視力には困難さはありません。

一見、問題がなさそうに思えます。

実は、首の可動域が狭く、後ろを振り返るのが苦  
手です。他にも問題が、、、







以上のことを踏まえてエピソードにうつります

# お楽しみ会のゲームの時こんなことがありました



S君は電動車いすでは、手は届くものの高さの足りず、たらいの中が見えないので抱っこしてもらって参加しました。



抱っこをしていることが心のどこかに引っ掛かり、  
相持ちの先生と話をされていて、思い出したのです。



以前修学旅行へ行って、サファリパークで首の可動域のせいで、ゴンドラやバスの窓から空しか見えず、動物を見れない児童がいたことを！

ジュースの工場で天井しか見えず、  
製造ラインが見れなかったことを！



あの時も、抱っこをしたり、デジタルカメラで写真を撮ってモニターで見せたりして少しでも見れるようにしました。

でも、彼女は本当に見たいものを見ることが出来たのでしょうか？

僕がこどもなら、せっかく行ったのに見ることが出来ないので、つらいし、悔しい。

抱っこをしてもらおうと見ることはできるから、ありがたいけど、申し訳なくて集中できないし、自由に移動しながら色々見ることができない。

周りの目も気になって、気恥ずかしくて「早くおろしてほしい」と思うかもしれません。

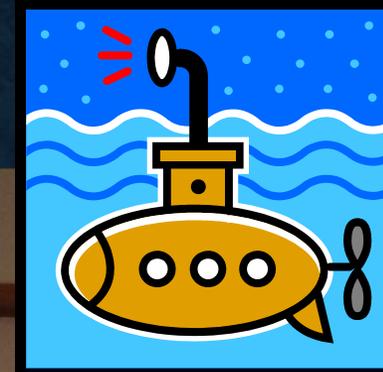
そこで、

自分で見たいけど見えにくいところを自分で確認できるようにすればいいと思いました。

どんな魔法を使う？

イメージは潜望鏡！

片目で見るのは使いにくいし、用意も難しい。  
また上下の角度調節も難しい。



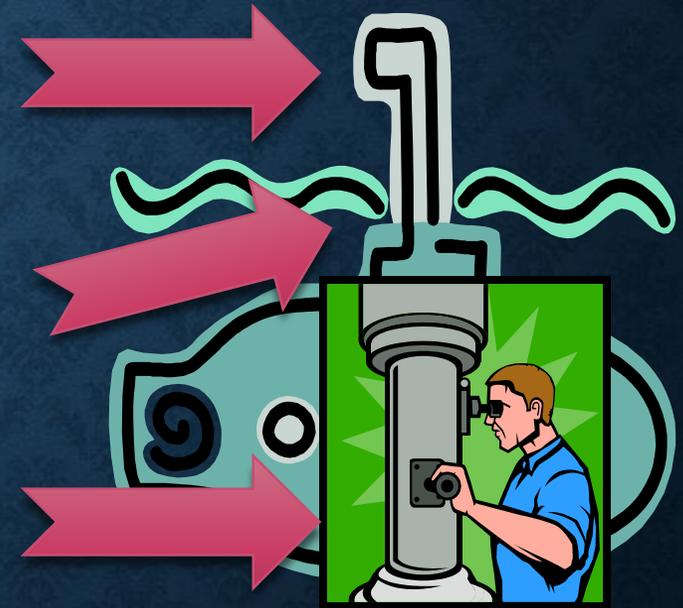
# デジタル潜望鏡を作ろう！

準備するのは

カメラ(写す)

アーム(支える)

モニター(見る)



# デジタル潜望鏡を作ろう！

モニターはIPADで！！

- ・充電によってコードなしで使える。
- ・画面が大きく見やすいので確認しやすい。
  - ・ノートPCより早く起動し、軽い。
- ・テレビ電話で映像のやり取りができる。

# デジタル潜望鏡を作ろう！

カメラは、、、アクションカメラを使う？

持っていない→2万円ぐらいもする

うまくいくかどうかもわからないのに買う？



こんなときこそ、**あるテク**！！！！

スマートフォンがあるじゃない！

スマートフォンなら

改めて準備しなくてもいい

テレビ電話でIPADに映像を送れる

使うアプリはテレビ電話アプリ「TANGO」！



**デジタル潜望鏡を作ろう！**

アームは、、

伸び縮み可能

使いやすく値段が安いもの

車いすの運転の邪魔にならないもの

一脚だ！！



一脚



スマートフォン用雲台



取り付けると



スマートフォンを取り付け



1メートル伸びます



角度を変えることができます

魔法のワンド完成です！





後ろにいるのはだれ？  
何してるの？





背が届かない窓でも様子を確認することができます



実際の様子をご覧ください



回転させることが出来るので、広い視野を確保することが出来ます



高さと角度が調節出来るので、簡単に見たい場所によって  
調節することが出来ます

## 現状での問題点

- ・テレビ電話を接続するためには少し手間がかかること

- ・そしてテレビ電話はハウリングを起こすため、利用時はスピーカーをオフにするか、アプリ内で通話をオフにする必要がある

- ・一脚の伸び縮みは本人には難しい

今後は、普段の生活はもちろん、校外学習や  
修学旅行など様々な場面で、普通に使えるよう  
に実践を重ねる予定です。

今後、いろいろな場面で利用することになると、まだまだ問題がたくさん出てくると  
思います。

ずっと繋ぎっぱなし？

必要な時だけ？

知らない人にも誤解されないように！

公的な場所でも利用できるように、、。

まとめ

今回の実践で、S君はIPADを使って  
背伸びをしたり振り返ったりして見る  
力を手に入れました

私たちは当たり前に行っていることが  
S君には当たり前ではなかったのです

車いすを利用していたら背伸びはできない

当たり前と思って諦めていませんか？

当たり前すぎて気付いていなかったと思いませんか？

子どものおかれている立場の理解

- • 望むこと、困り感を把握する



**適切な魔法**・・・タブレット端末やスマートフォンを使って、今まであきらめていたことに対する本質をサポート（困り感を解消し、望むステージに立つための支援）



子どもたちが本来の力で  
サクセスをつかみ取る

本来の能力で望むことをする

今、自分でできるという経験を

そして将来へつながる力を

ご清聴ありがとうございました